

吹上小学校の通学区域の変更に関する意見交換会

令和3年11月7日(日)
11時00分から11時45分
吹上小学校体育館にて

① 参加者(世帯)数

41世帯

② 出席者

齊藤教育部長 大島教育部参与 宮野教育部副部長 鳥沢教育総務課長
教育総務課 新井・堀 学務課 石井・梶谷

③ 以下、質疑応答内容

保護者	通学路として洲崎橋を通らず、榛名陸橋で通うというのは案として出たのか。
教育委員会	これまでも通学路の変更については検討をしてきた。榛名陸橋についても、歩道の部分が狭い、また傘をさすと車の風圧で飛ぶといった危ない状況である。洲崎橋の架け替えや交通規制なども要望を出していたが難しい状況であった。 教育委員会として、小中の接続や通学の安全性等、様々な課題の解決に向けての下忍小学校学区への見直しである。
保護者	スクールバスについて、小学生全員を対象としているのか。また北新宿地区、新宿あたりも住宅が増え、お子さんも増えているところだが、新しく小学校が1つ出来るということは検討されていないのか。
教育委員会	スクールバスの対象については、現在の案としては学年問わず全員を対象と考えている。乗降場所なども皆さんからのご意見を伺いながら検討していきたい。 小学校の新設については、考えていない。一時の住宅供給に伴う人口増で学校を新設するというのは、全国的にも、人口減少している中で、公共施設を増やしていくということはない。
保護者	先ほど直線距離で2kmという話がでたが、スクールバスの導入となった場合、距離で考えているのか、北新宿地区全体を対象として考えているのか。
教育委員会	直線距離で2kmと先ほど申し上げたが、そもそも直線距離2kmというのは旧鴻巣の時代に地域全体の学区、統廃合の見直しを行った際に、直線距離2kmを超える対象地域

についてはスクールバス等を検討するということが課題として残っていた。笠原小学校がスクールバスを導入しているが、直線距離2kmという基準は活かしている。

学校までの距離、集合場所までの距離を比較し、集合場所までの距離があまりにも近いのに2km圏内なので対象外というのは柔軟性に欠けるのではないかと考えた結果、直線距離2km以内であっても集合場所の方が近ければ対象というのを前提に検討した。

北新宿地区については、下忍小学校を対象としてスクールバスを導入すると考えたときに北新宿のどこの地域にお住まいであっても、集合場所までの距離が近くなると思うので現実的には全体が対象になると考えている。

保護者	早くて令和5年度からの移行で、選択できるようにするという話だったが、年が離れている場合、兄弟で別々の学校に通うことになるのか。
教育委員会	兄弟のいる家庭については、上の子と同じ学校に通うという選択も可能になる。これはこの地域に限らず、過去の学区変更においても同じ状況である。市としての指定校は下忍小学校であるが、兄弟の関係で吹上小学校から吹上北中学校という経過措置も設ける予定である。
保護者	小学校から同じ中学校にという話だが、北新宿地区が吹上小学校から吹上中学校にという検討はされなかったのか。
教育委員会	選択肢としてはあるが、吹上小学校であれば吹上中学校学校に、下忍小学校であれば吹上北中学校にと考えると下忍小学校から吹上中学校にというのは考えられないかと思う。 そうすると吹上小学校、吹上中学校という流れになると思うが、洲崎橋を通る通学路の安全性がネックになってくる。先ほどの5つの課題をすべて解決する方法として、北新宿地区については下忍小学校と吹上北中学校という、小学区の変更が最善と考えている。
保護者	下忍小学校へ行く理由というのが、洲崎橋の理由一本のような気がする。下忍小学校ありきで、理由として洲崎橋と言っているように聞こえる。
教育委員会	理由の一つではある。ただ、資料1にもあるように、他にも35人学級の導入等による教室数の不足、19学級以上の大規模校化、小中の接続といった問題もあり、このままであると、それらの課題が解決されずに残るところで、最善を考えての提案である。結果が下忍小学校ということだが、下忍小学校ありきで考えていたわけではない。
保護者	令和5年以降となると、在校生は転校ということになるので、吹上小学校を選択する子に関しては引き続き洲崎橋を通る必要があるが、安全面についてはそのままなのか。
教育委員会	洲崎橋の安全性については、長年議論がされており、地域の方々、保護者からも要望書を

あげていただき、市長名で出しても要望が通らない状態である。現在は地域、保護者の皆さんに見守りいただきながら、登校いただいている。あまりにも人数が多いことから、特に雨の日には洲崎橋から踏切まで傘がずらっと並ぶような難しい状況である。

ご質問の吹上小学校を選択した場合については、引き続き地域の皆さんに見守っていただくことになるかと思う。

現在でも、1年中ほぼ毎日見守りを行い、疲弊しているというお声もいただいている。

スクールガードリーダーなど学校と地域での見守りは継続的に必要であると思うが、学区変更により絶対数が変わってくるので、数の部分で多少危険度が下がるのではないかと考えている。

保護者

下忍小学校の現在の学級数と、下忍小学校に行く子どもの数が増え、学級数が増えると思うが、12～18学級の規模が保てるのか。

教育委員会

下忍小学校は現在14学級。変更案については、令和9年度までの推移をふまえて提案をしている。吹上小学校については令和9年度には600人を超え、19学級の見込であるが、下忍小学校については令和9年度には370人くらいで、80人くらい減ってくる推移となっている。下忍小学校に限らず、市内どこの学校も減っている状況であるが、推移をみた上である程度適正規模が保てるであろうということで提案している。

保護者

あと、施設の老朽化というのは具体的にどこを指しているのか。

教育委員会

施設の老朽化については、吹上小学校や下忍小学校だけでなく市内全体をみている。小中合わせて27校あるが、学校というのは規模が大きいので、少し直すだけでも莫大な費用になってしまう。そういった施設面もふまえ、子どもの数があまりにも減ってきているので、同じような学級規模で、適正規模、適正配置というのを検討しているところである。

保護者

スクールバスについて、笠原小学校について現在は朝だけと聞いていて、帰りは鴻巣中央小学校まで保護者が迎えに行く聞いています。北新宿地区にスクールバスが出るとなった場合、帰りもバスが出るのか、笠原小学校と同様に下忍小学校まで迎えに行くのか聞きたい。

教育委員会

現在の笠原小学校についてだが、笠原小学校学校がある中、それでも鴻巣中央小学校を希望して通っている状態である。指定校は笠原小学校学校であるという前提の中で、鴻巣中央小学校を希望する場合は、通学区域の弾力化の部分で対応しているところである。そのため保護者の送迎をお願いしているところだが、どうしてもバスをお願いしたいという要望があったため、朝だけということで予算をとって対応している。

来年度については指定校が鴻巣中央小学校になるので、その時には通学距離が2kmを超えてしまうということで、バスで送迎を行うということになる。ただ放課後児童クラブを利用して

	<p>いる場合は、他の地域と同様に、保護者がクラブへ迎えに行くことになる。</p> <p>学年によって下校時間が異なるが、案としては下校時間に合わせたバスの運用を考えている。</p>
保護者	<p>北新宿の通学区域が変わるのが令和5年度ということだったが、具体的に方向性が固まるのはいつくらいになるのか。</p>
教育委員会	<p>通学区域を変更するという事は、教育委員会だけで決めるものではない。外部の方を招いて通学区域の審議会にて議論してもらい、定例の教育委員会で承認を得て、議会で報告等の流れになる。来年の春先には、だいたいの方針が決定してくる。</p>
保護者	<p>先ほど外部の機関等を通すという話だったが、投票ではないが、私たち保護者の意見を取り入れてもらう場はあるか。</p>
教育委員会	<p>こういった意見交換会という形でお話を伺うということ、この後意見交換会での意見をホームページ等で公開し、欠席された方への周知、共有していきたい。その際に、追加の意見を電話なりメールなりいただければと考えている。</p> <p>その後、審議会に諮っていくことになるが、こちらの提案というのはその都度公開し、共有していきたいと考えているので、決定までには何度かご意見をいただく機会がある。</p> <p>審議会後、具体的に就学について説明する機会というのも春先に用意する予定である。</p>
保護者	<p>そうすると、この案をやめて今まで通りという考えはあまりないのか。</p>
教育委員会	<p>先ほどの説明のとおり、課題を解決しなければならないという前提があるため、課題の解決のための別の方策があればご意見いただければと思う。やはりこれだけ課題がある中で、課題解決のための方策を教育委員会として検討した結果として出しているものなので、この後ホームページ等で公開した上で何もなければ、このまま解決に向けて進めていくべきと考えている。</p>